



# 大好き！絵本

初瀬 恵美



先日栗拾いに行くと、地面から沢山のきのこが生えていました。日中は、いつまでも暑い日が続きますが、食材は旬が秋のものへと移っていることを感じました。

そこで、今月は『ほししいたけ ほしばあたけ』を紹介させていただきます。左の絵を見ていただくとお分かりのように、とてもシュールな絵に、インパクトのあるタイトルです。そこに惹かれて絵本を見てみると、抱腹絶倒のおもしろさの絵本でした！子ども向けというよりは、大人向けのこの絵本。でも大人が楽しんでいると、子どももつられて笑うもの。出会ったことのない絵本の世界に引き込まれること間違いなしです！

主人公はほししいたけとほしばあたけ。二人が一番好きなことはひなたぼっこ。一番嫌いなことは、水にぬれることです。

ある日ほししいたけが薪を拾いに出かけると、村の子どもたちが崖下をのぞき込んでいました。どうしたか尋ねると、友達のタマゴタケが、崖の下に落ちてしまったというのです。ほししいたけは、身軽に崖を降り、タマゴタケのところへ向かいました。しかし、タマゴタケは、けがをしていて、上へあがれません。背負おうと思ってもほししいたけにはそんな力もありません。絶体絶命のピンチに立たされるほししいたけ。どうやってのりきっていくのか…。この続きは、ぜひ絵本を読んでいただきたいと思います。

この絵本のブックカバーには「ほししいたけ」についての説明も書いてありました。  
【ほししいたけ】おひさまに、しいたけをほして、しわしわ、からから、かちかちにしたもの。  
ながいあいだ、ほぞんできるし、なまのしいたけにはない、えいようやうまみがあります。みずにつけて、やわらかくして、りょうりにつかいます。そのみずも、おいしいだしになるんです。

大人にとっては、当たり前の知識でも、子どもにとっては、不思議なこと。昨年度、切り干し大根を作り、大きさや状態の変化をみたり、「干した方が栄養がいっぱいになるんだよ」という話を聞いている子もいますが、今年度は、この絵本をきっかけに、干しいたけを作れたらなと思います。また、しいたけの出汁のうまみもぜひ、味わわせたいな～と思います。

そして、ほししいたけとほしばあたけの世界を子どもたちと楽しんでいきたいと思います。

